

東日本 APM ニュース

ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

第504号 2017. 12/8

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
URL: <http://www.ejp.or.jp> FAX 03(3541)4324
発行人 八尋 一恭

目 次

前期技能検定合格発表（合格者名簿）…… 1
IPF Japan2017のトピックス …………… 3

事務局レポート…………… 4

おめでとうございます 前期技能検定合格発表 プラスチック成形技能士が誕生しました

平成29年9月29日前期技能検定試験の合格発表が行われました。東京都ではプラスチック成形職種「射出成形作業」で1級23名、2級56名、総計79名の技能士が誕生しました。

今年度東京都の「射出成形作業」の合格率は1級33.8%、2級57.1%、合計では47.6%。これに対して全国ベースは1級22.9%、2級36.8%、合計では32.1%です。合格率には毎年変動が有りますが、今年度は比較的に良好です。

今年度から技能検定実技試験では、「・・・製品を正しい作業手順にて・・・」との規定が追加されました。従来にも増して成形作業の基本が試されています。成形作業の基本は「安全な作業」、「堅実な作業」そして「正しい作業手順（製品を

見ながら少しずつ条件を上げていく）」です。合格の分かれ目は、正にそれが身に付いているか否です。

工業協会では技能検定に向けて各種実技講習会を開催しています。同講習会は単に試験を突破するだけを目的としていません。あくまでも成形作業の基本を確認して頂く事に重点を置いています。従って平素の作業現場でもきっと役立つかと思えますので積極的に活用願います。

末筆となりましたが、今年度も会場提供を頂いた東京都立中央・城北職業能力開発センター板橋校様を初め、数多くの皆様のご支援・ご協力のもと、特に大きな事故・怪我無く無事終了いたしました。この場をお借りいたしまして、心から御礼

平成29年度前期技能検定「プラスチック成形」東京都 合格者名簿

1 級技能士 「射出成形作業」

氏名	勤務先	氏名	勤務先
工藤 真	住友化学株式会社	佐藤 直己	山下電気株式会社
王 麗婷	山下電気株式会社	下谷 智宏	天馬株式会社
水野 浩司	天馬株式会社	土屋 真吾	株式会社 荒川樹脂
菅 竜太	株式会社 日本製鋼所	佐久間 友章	株式会社 荒川樹脂
長島 友幸	株式会社 リーデンス	栗原 和希	ツバキ山久チエイン株式会社
橋 直広	株式会社 常磐谷沢製作所	仙石 拓哉	株式会社 ワイ・ティ・エス
田中 光弘	アイ・アンド・ピー株式会社	富田 智寛	株式会社 ヒロプラス
袋田 裕史	住友化学株式会社	金城 毅	大野ゴム工業株式会社
古谷 朋一	住友化学株式会社	戸部 貴慶	日本航空電子工業株式会社
笠原 建生	鈴野化成株式会社	上田 隆志	東レ株式会社
横須賀 直人	山下電気株式会社		他に2名氏名不明あり(職能直接申請)

2 級技能士 「射出成形作業」

氏名	勤務先	氏名	勤務先
手塚 瑠子	株式会社 サトーゴーセー	伊藤 秀俊	株式会社 サトーゴーセー
榎戸 未来	株式会社 池田製作所	高橋 稔	株式会社 小松川プラスチック
古谷 篤	住友化学株式会社	小池 大地	泰興物産株式会社
塩野 貴大	天馬株式会社	水嶋 仁昭	株式会社 ADEKA
清水 大輔	吉田テクノワークス株式会社	福西 成人	青森職業能力開発促進センター
成田 翼玖	日鋼Y P K 商事株式会社	福島 孝洋	白元アース株式会社
高山 光司	株式会社 名和	飯田 純史	山下電気株式会社
山内 直樹	平和工業株式会社	林田 拓志	株式会社 DJK
杉屋 敷琢	住友化学株式会社	渡辺 巧	天馬株式会社
内田 恵亮	株式会社 吉野工業所	石毛 正輝	天馬株式会社
三枝 善	天馬株式会社	土門 宗平	天馬株式会社
櫻井 翔汰	天馬株式会社	渋谷 弘美	株式会社 荒川樹脂
高田 摩耶花	株式会社 日本製鋼所	藤田 将治	D I C 株式会社
高橋 直樹	陸化工株式会社	西坂 武	株式会社 DJK
安田 洋平	株式会社 第一化成製作所	操上 大浩	エビコン株式会社
岡部 太一	株式会社 第一化成製作所	小林 勇太	ツバキ山久チエイン株式会社
小野村 慎一	川口真空株式会社	小室 論	株式会社 日昌製作所
郡司 博行	株式会社 ヒロプラス	鈴木 孝治	株式会社 日昌製作所
岡本 直樹	村角株式会社	内田 真太郎	アマノ株式会社
岩崎 敏明	株式会社 七星科学研究所	神澤 秀雄	駒沢化成株式会社
岩渕 義樹	共伸プラスチック株式会社	佐伯 愼二	高压化工株式会社
磯山 圭介	不二プラスチック株式会社	中本 篤志	村角株式会社
赤星 孝星	株式会社 根上産業	長岡 炎	株式会社 佐一プラスチック
田邊 哲太	株式会社 根上産業	本 田 博	株式会社 DJK
菅 敏宏	株式会社 リーデンス		他に1名氏名不明あり(職能直接申請)
岡本 慶輔	株式会社 サトーゴーセー		

IPF Japan2017のトピックス

IPF Japan2017は10月24日～28日の5日間にわたって幕張メッセ(日本コンベンションセンター)で開催された。本見本市は1994年に第1回が開催されて以来、3年に1回開催されてきた国内最大のプラスチック専門見本市である。第9回となる今回の出展会社は778社と報告されており、「コンポジット材料・成形システム展」、「プラスチック成形機、成形関連システム展」、「高機能プラスチック・添加剤・フィラー展」、「ゴム原料・成形システム展」、「発泡プラスチック展」、「リサイクル装置・システム展」などのジャンルに分かれて出展されていた。

射出成形機メーカーを中心とする関連では、IoT対応技術、炭素繊維熱可塑性プリプレグ(CFRTPプリプレグ)とのハイブリッド成形、ハイサイクル成形、複合成形、自動色替え成形、インライン加飾成形、超小型成形などの成形実演または展示があった。

今回成形実演が多く見られたCFRTPプレプレグのハイブリッド成形では、次のような成形実演が行われていた。

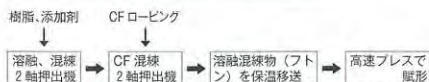
- ① CFRTPプリプレグを赤外線加熱後、射出成形金型に移送し、型締めプレス後に繊維強化樹脂を射出成形して一体化する。
- ② CFRTPプリプレグをヒート&クール金型にセットし、急加熱プレス賦形後に繊維強化樹脂を射出成形して一体化する。
- ③ テープ状CFRTPプレプレグを連続的に射出成形金型に供給し、繊維強化樹脂を射出成形して一体化する。

また、超小型成形機では、ウルトラジオン社(スペイン)の超音波振動可塑性機構を搭載した成形機「SONORUS」が出展されていた。超音波振動により低粘度化することで、医療部品のような0.1mm以下の超薄肉品の成形も可能となる。

次に、本見本市では「コンポジットの現在と未来～プラスチックの採用拡大を目指して」をテーマにコンポジット企画展コーナーが設けられ、CF強化材料による軽量・高強度製品に関連する技術の出展が行われた。CFは世界全体の7割近くを日本のメーカーが生産、供給しているが、国

内におけるCF複合強化製品の生産量は世界全体の1割にも達していない。このような背景から、名古屋大学ナショナルコンポジットセンター(NCC)と金沢工業大学革新複合材料研究開発センター(ICC)を中心に、民間企業と産学共同研究体制で応用技術の開発を進め、実用化を促進している。本企画展ではCF解織技術、CFRTPプリプレグ加工技術、製品加工技術、接合技術、製品評価技術などに関する展示が見られた。製品としては自動車構造部材を中心とし、住宅設備、風力発電、土木・建築なども対象としている

写真は、CFRTP製自動車シャーシモデル製品(40kg)である。2つの成形品を接合している。図に示すようにNCCは素材から成形品を一貫して加工するシステムを開発している。



ICCはダイレクトベルトプレスプロセス(DBP)と呼ばれる方法で連続成形した大型加工品を展示していた。DBPによる間歇プレス法ではベース樹脂にPEEKを用いたCFRTPのコ字状断面長尺プロファイル成形品(長さ4m)を出展していた。また、DBPによる連続成形法ではベース樹脂に熱可塑性エポキシ樹脂を用いたCFRTPシート(厚み3mm)を出展していた。一般的にエポキシ樹脂は熱硬化性樹脂として知られている。熱可塑性エポキシ樹脂は初期状態では低分子からなる低粘度組成物であるが、加熱架橋すると各分子が1対1の付加反応をして直鎖ポリマーとなり、熱可塑性ポリマーの特性を示す材料である。

(桑山子)

事務局レポート

■第362回理事会議事録

1. 日 時 平成29年11月14日（火）
14時00分～15時40分
2. 場 所 東日本プラスチック健保会館
3階「第一集会室」
東京都台東区柳橋1-1-4
電話03-3862-1051
3. 出席者
- | | | |
|-------|-------|-------|
| 大野 泰昭 | 大井 英一 | 大塚 一郎 |
| 佐藤 昭 | 川野 幸博 | 住田 嘉久 |
| 嶋田 修二 | 佐藤 義明 | 内藤 隆夫 |
| 山下慎一郎 | 滝口 裕 | 植田 好司 |
| 肥後 武重 | 腰越 稔 | 小松 幹也 |
| 八尋 一恭 | | |
- 以上出席16名（理事総数31名）

4. 大野会長ご挨拶

本日はお忙しい中、理事会に出席していただき有難うございます。今月11月23日に行われるのが「新嘗祭」で、収穫の感謝と翌年の豊作を祈る皇室の祭儀となっています。ちなみに新嘗とはその年に収穫された穀物のことです。天皇みずから新穀を天神地祇に供えて祀り食する儀礼で、飛鳥時代にはじめられたといわれております。かつては国家行事でしたが、戦後は「勤労感謝の日」として国民の祝日となりました。いまでもこの日、宮中や伊勢神宮ほか多くの神社でこの収穫への感謝の祭典が行われているそうです。

お話が変わりますが、「電気自動車時代の足音が近づいてきた」という題名で新聞に記事が出ていました。電気自動車（EV）シフトの動きが世界的に高まっていて、日産自動車はEV「リーフ」の初のフルモデルチェンジを実施し、西川社長は「日産のコアになる車」と表明しました。米国で

はテスラが50万台という破格の予約を集めた「モデル3」の納車を始めたそうです。メーカーだけでなく仏英両国は、2040年までにガソリン車などの販売を禁止する「脱エンジン」の方針を打ち出しました。中国やインド政府あるいは米国でもカリフォルニアをはじめとする有力州がEVの普及を後押ししています。日本としてもここで競争に負けて基幹産業の自動車を失うわけにはいかないと考えます。EV化の波を「脅威」ではなく電池の部材や車の新素材に関連する電子部品など幅広い産業を浮揚させる「好機」ととらえ変化を先取りしたいと考えているそうです。ただいたずらに慌てる必要はありません。携帯端末の世界ではスマートフォンがいわゆる「ガラケー」に取って代わるのに10年もかかりましたが、車の動きはもっとゆっくり進むものと思われれます。米金融大手のゴールドマン・サックスは2040年時点でも世界の新車販売におけるEVの比率は32%にとどまり、エンジン車の45%を下回ると予測しています。電池の性能向上や量産体制の確立、さらにリチウムやコバルトなど電池に使用される金属資源の増産には、かなりの時間が必要になるでしょう。使用済み電池リサイクル技術の確立も未解決の課題だそうです。とはいえ変化の波は確実に押し寄せます。過去100年続いた「エンジンだけが車の動力源」だった時代が終わる衝撃は予想以上に大きいかも知れません。ドイツの自動車工業会などは「エンジンがなくなれば、ドイツ国内で60万人以上の雇用が影響を受ける」と試算しました。日本でも「脱エンジン」の加速で一部の自動車部品メーカーなどが痛みを被る恐れはあります。こうした負の側面の一方でEV化は電子部品や軽質な炭素繊維などの需要を広げることでしょう。また、EVは自動運転技術との相性が良く、機械が人の運転手をサポートすることで交通事故が大幅に減る可能性もあります。そして何より排ガスがゼロになるので、新興国を中心に大気汚染に苦しむ地

域に朗報です。EV時代の足音を冷静に前向きに受け止めたいと記者は結んでいます。私もそう思いますし時代の変化には逆らうことは出来ません。

本日も理事の皆様には審議していただく事項が多数ございますので、スムーズな進行をお願いしまして挨拶にさせていただきます。

5. 専務理事より定数の報告

本日出席者理事は16名であり、定款第33条の規程より、過半以上の出席があり、本理事会が有効に成立している旨の報告がなされた。

6. 議長選出

定款第30条の規程により会長が議長に選出された。

7. 議事録署名人

議長は、定款第34条により、同人が議事録に捺印することを説明し、了承された。

8. 議 事

専務理事から、前回理事会以降の主要行事について、以下の報告と説明をした。

議題1. 経過報告（前回理事会以降の主要行事）

(1) 役員会等の開催

10月31日 第361回理事会 東プラ健保会館

(2) 部会・委員会の開催

特になし。

以上議題1について諮ったところ特に異議なく了承された。

議題2. 会員の入会・退会承認の件

以下専務理事から説明した。

(1) 入会の部

賛助会員 1社

① 会社名 リューベ㈱

所在地 東京都新宿区西早稲田
3-30-16ホリゾン1

代表者 堀越 栄治郎

業 種 オリジナル潤滑剤及び潤滑装置の開発・製造・販売・施工

(2) 退会の部

特になし。

(3) 会員の増減

	正会員	賛助会員	計	団 体
前回	161社	63社	224社	7団体
増加	0社	1社	1社	0
減少	0社	0社	0社	0
現在	161社	64社	225社	7団体

以上議題2について議長が議場に諮ったところ、特に異議なく了承された。



議題3. 平成30年賀詞交歓会の件

配布資料に沿って、専務理事から説明した。

(1) 開催日 平成30年1月18日(木)

(2) 会場 上野精養軒 3階

※開催要領等

以上議題3について議長が議場に諮ったところ、特に異議なく了承された。

①新年賀詞交歓会・理事会

(平成30年1月26日(金))

会場=第一ホテル東京

②第186回理事会(平成30年4月20日(金))

会場=ホテル日航大阪

③第57回通常総会(平成30年6月6日(水))

会場=横浜国際ホテル

議題4. 来年度のスケジュール

以下専務理事から説明した。

(1) 第50回総会 平成30年5月24日(木)

会場:上野精養軒

(2) 理事会予定 別資料にて説明。

以上議題4について議長が議場に諮ったところ、特に異議なく了承された。

(2) 組合事業報告

①出資の引き受けのお願い

ガソリンカード取扱いの開始

(3) その他報告事項

①外国人技能実習制度

②金型管理の適正化に係るアクションプラン

③電子請求書に係る提案

以上で予定の議案、報告事項を終了した。

特に意見が無かったため、議長は閉会を宣した。

【報告事項】

(1) 連合会事業報告

業界の年金基金が生まれかわりました

世界でも屈指の少子高齢化、長寿化が進むなか、現役世代の所得に対する国の年金の比率は今後、低下が見込まれます。

こうした環境下、業界の就労者の皆様の豊かな老後を支えるべく、従来の東日本プラスチック工業厚生年金基金は、平成29年3月にトープラ企業年金基金として生まれかわりました。

従業員様の退職給付制度に関するニーズをお持ちの事業所様は、是非とも当基金へのご加入をご検討ください。

トープラ企業年金基金

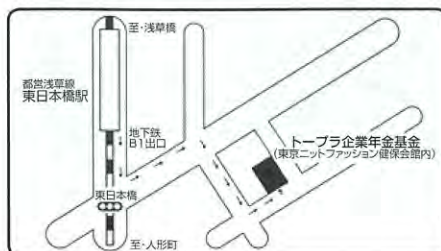
理事長 佐藤 義明

事務所長 江藤 清隆

住所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-5-13

東京ニットファッション健保会館2階

TEL03-3862-4308



都立中央・城北職業能力開発センター板橋校 プラスチック加工科（6ヶ月コース）



求人のお願いと4月生募集



プラスチック加工科では、射出成形技術について6ヶ月の訓練を行っています。
訓練生は、技能検定の射出成形作業2級程度の技術習得を訓練目標とし、プラスチック製品等の製造業に就くために成形条件の設定や不良対策、金型の分解・組立てなどでもできるように、日々訓練に励んでいます。
つきましては、訓練生向けの求人情報がありましたらご提供をお願いします。また、平成30年4月入校生の一般募集を予定しておりますので、以下の通りご案内します。

【4月生募集】

- 訓練内容
 - ・金型の取り付け/取り外し
 - ・成形条件の設定/不良対策
 - ・金型のメンテナンス
 - ・仕上げ作業等の加工技術
 - ・製図/CAD操作
 - 授業料 無料
 - 選考内容 筆記試験（国語・数学）・面接
 - 募集期間 平成30年1月10日（水）～2月2日（金）
 - 選考日 平成30年2月15日（木）
- ※詳しくは、ホームページで確認して下さい。
<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/vsdc/itabashi/index.html>



射出成形機取り扱い実習の様子

求人、訓練生募集、見学等のご不明な点につきましては、お気軽にご相談ください。



金型の分解・組立て作業



成形機（日本製鋼所J85EL II、他6台）



生徒作品（マグカップ、ヘアブラシなど）

担当指導員から一言

プラスチック加工科では、実務経験が無い方やプラスチック成形に関する知識が全くない方でも、懇切丁寧に指導いたします。訓練では、基本測定（製品の測定）から金型の構造、成形機の構造、材料、製品成形などの技能・技術を段階を踏んで習得できます。訓練修了時には、与えられた材料や金型、成形機などに応じた適切な成形条件を選択できる技能者になれます。また、東京都の受託訓練制度を活用し訓練生を派遣する企業もございます。

お問い合わせは

東京都立中央・城北職業能力開発センター 板橋校
174-0041 東京都板橋区舟渡2-2-1（JR埼京線 浮間舟渡駅 徒歩3～4分）
電話 03-3966-4131 FAX 03-3966-3161
担当指導員 長野、久保田

協同組合に入りませんか!!

東日本プラスチック製品工業協同組合ご加入のご案内

1. ご加入資格

～以下の条件を満たす企業様をご加入になれます。

- ① プラスチック製品製造業を行う事業者であること
- ② 組合の地区内*に事業場を有すること

*東京都、茨城県、埼玉県、千葉県、群馬県、長野県、神奈川県、静岡県、山梨県

2. 協同組合の事業

～以下のような事業を行っています。

- ①各種ユニフォーム・事務服、タオル等の斡旋
- ② ETC カード事業
- ③ PL 保険、団体生命保険
- ④プラスチック手帳、ポリマー辞典の斡旋
- ⑤保存食、精米機等の斡旋

・・・組合で制度に団体加入したり、組合で共同購入をするためお得です。

3. ご加入の際の手続き

1口1万円からのご出資が必要です。詳しいお手続きについては事務局の八尋（やひろ）までお問い合わせください。

(住所) 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル

(電話) 03-3541-4321

(FAX) 03-3541-4324

東日本プラスチック製品工業協同組合
代表理事 嶋田 修二